

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		社会保障制度論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員		富田 幹彦	実務経験と その関連資格	福祉事務所でのケースワーカー。障害者支援施設(身体・知的)・重症心身障害児者施設・障害者就労継続支援事業所(精神)での相談業務及び運営管理。成年後見人。 資格＝社会福祉士、精神保健福祉士			
《授業科目における学習内容》 社会保障と社会福祉の概要を体系的に理解すると共に、社会や経済の変化を理解し、今後の社会保障、社会福祉の方向や動向を学ぶ。 社会保障制度のうち、医療保険制度、介護保険制度、所得保障制度について学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(100点)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度3 社会福祉							
《授業外における学習方法》 ・教科書で指摘した個所について、理解を確実なものとしておくこと ・社会の様々な事象に触れた際、授業で学んだことを想起すること							
《履修に当たっての留意点》 ・講義中の「例え話」から教科書に記載されている内容の本質を理解すること。 ・熱い思いを受け止めて欲しい!!							
授業の方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度が、国民の生活の安定を図り、最低限度の生活を保障する公的な制度であること及び具体的な保障内容について理解する			教科書	事前通知の事項について教科書の中から見つけておくこと
		各コマにおける授業予定	社会保障制度の概要				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉を支える法制度を学習し、現在の社会福祉制度の背景や社会福祉を実際に担う組織・従事者について理解し、臨床現場での多職種連携に役立つことを理解する			教科書	同上
		各コマにおける授業予定	社会福祉制度の概要				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	少子高齢化や人口減少、経済成長率の低下や雇用の流動化等、社会や経済の変化を理解し、今後の社会保障・社会福祉の目指している方向や基本的な動向について理解する			教科書	同上
		各コマにおける授業予定	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	我が国の医療保障制度の成立の経緯・沿革や現在の制度の内容、今後の動向について、また、我が国の医療保障制度の基盤となる医療保険制度と保険診療の仕組みについて理解する			教科書	同上
		各コマにおける授業予定	医療保障				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度の成立の経緯や現在の制度の概要と今後の課題について理解する。また、老人福祉、老人保健と介護保険の関係を学び制度の本質を理解する			教科書	同上
		各コマにおける授業予定	介護保険				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	人々の生活を支える所得保障制度の全体概要と、具体の年金保険、社会手当、労働保険について理解する	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	所得保障		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活保護制度を中心とした貧困や低所得問題に対応する公的扶助制度を理解し、併せて今日までの変遷や制度適用の実態・動向について理解する	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	公的扶助		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	「社会保障制度のポイント」としてまとめた項目を復習理解する	教科書 ポイント要約表	これまでの事前通知事項を振り返っておくこと
		各コマにおける授業予定	振り返り		